

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する
保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします
方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします
保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

かぴら べなれす年少クラス便り

2023年1月30日(火)

文責：山角 沙織

子どもたちの元気のよい声や挨拶と共に、新しい年が始まりました。今年度も残りわずかですが、一日一日を元気に過ごしたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

只今、年少さんは毎日劇あそびや言葉遊びに夢中な毎日です。年長さんや年中さんがホールへ行こうとすると「ねえ、私たちはいつするの？」と催促がかかるほどです。2月のこども会では日々の保育で行っていることを披露する場となります。劇の小道具作りも皆で協力し作りしました。自分で絵本を見ては「この色がいい」と衣装の色も選んだり・・・今は、やる気に満ちていますが当日のお父さん、お母さんを前にどうなることか分からないところでもあります。（一番、担任が緊張することでしょう・・・）少しでも普段の様子を披露できたらなと思っています。是非、ご家族で見に来てあげてください。一緒に楽しんでもらいたいです。

最近是一段と寒くなり、体調を崩しやすい季節でもあります。体調面で気になることなどありましたら、お知らせください。毎日を元気に過ごせるようにありたいと思います。

箸使い頑張っています！！

～みててよ～

箸への移行を考える際、スプーンやフォークを下手持ちでしっかり持っていることです。また、食事の面だけでなく、描画の際のクレヨンを正しく握れるかなど日々の様子を見て始めています。紙を持ち、ハサミで連続切りができるようになるなど、両手の協応ができることも上手に箸を使えるポイントになります。色んな事に興味を持つようになり皆がそれぞれの力をつけてきました。そして只今、年少は全員箸で食事をとっています。

しかし、まだまだ苦戦しながらでその都度伝えながらです。一度ついてしまった癖はなかなか直しにくいものです。箸は日本人の文化でもあります。箸を正しく持つことで、食べものがつまみやすくなります。只今、かきこむのではなくつまんで食べることも意識しているところです。しかし、まだまだ難しく、時には心も折れそうになります。園ではスポンジ握りなど遊びでも取り入れながら日々の力になるように取り組んでいます。

是非、家庭での食事の時間にたくさん自信をつけさせてあげてください。

皆で美味しく食事を楽しみたいです。

皆でお鍋も楽しみました☆彡

「ふうふう」するんだよと上手でした。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 黒木 美紀 解決 責任者 園長 假屋 由美子

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友里子 (099-474-1851) 山口 和美 090-5473-5866

先日の雪の日の子どもたちの会話です。雪のお祭りか～なるほど～と思う事でした。子どもたちは寒さなんてなんのその！！元気に外遊びを満喫しました。

雪のおまつりだ ～雪ってさむいよ～

雪だるまも
作ったよ！！
かわいいでしょう♡



雪遊びを楽しんだ後は・・・電気ストーブの前で暖まりました～。あったか～い♡♡♡



これは、雪で作ったきな粉
だんごでーす、

いっぱい遊んだ後の暖かいお布団はとっても気持ちのよいものです★年長さんが、起こすお手伝いをしてくれるのですが・・・「先生、見て！！皆同じように寝てるよ！！」と教えてくれ、見てみると3人並んでうつ伏せで可愛い姿が♡思わず写真を撮ってしまいました。「らいりくんのお尻が一番あがってる」と年長さんたちに観察されていました。

こういう姿も今だけなのかもしれませんね♪

これも冬の風物詩かもしれません・・・



見て！氷だよ！
石でした～
氷・氷・氷・石！？
一人だけ石でーす

